

建築人

2023

4

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.706





建築人

2023.04 No.706

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「枚方市総合文化芸術センター」2021年

第41回 大阪都市景観建築賞 審査員特別賞 受賞作品

設計：日建設計

施工：前田建設工業

撮影：伊藤 彰(アイフォト)

本計画は施設前に最大限のオープンスペースを確保し、水平庇や軒先緑化により分節し圧迫感を軽減することで、巨大な建物になりがちなホールをコンパクトに設えた。屋上緑化や中庭、軒先緑化を設け、敷地前広場の緑を建物に取り入れることで、どこにいても緑を感じることができる。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「泉北パークヒルズ竹城台」

建築主：独立行政法人 都市再生機構 西日本支社

設計：遠藤剛生建築設計事務所

施工：奥村組(101,102号棟) 浅沼組(103,104号棟,集会所)

6 第41回大阪都市景観建築賞
(愛称 大阪まちなみ賞) 入賞作品

9 動静レポート

10 インフォメーション・事業案内

12 Close-up Osaka

14 記憶の建築
「小菅刑務所(現・東京拘置所)」1929年
坂口安吾のモダニズム / 松隈 洋

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

2023年2月13日に、偉大な漫画家である松本零士氏が旅立たれました。故人を偲び、2021年6月まで名誉館長を務められた屋内型児童厚生施設「堺市立ビックバン」を紹介したい。

当時の施主は大阪府で、開設までの道のりは長くバブル後退期の1992年に基本構想検討委員会が設置された。その後、1995年に基本設計に着手し開館したのは1999年だ。建物規模は地階1階、地上5階建てのSRC造等で、延床面積は13,016㎡。総工事費は約171億円に及んだ。

建築設計は大阪府建築都市公共建築室及び坂倉建築研究所、設備技研で、主に施工は大成建設及び森本組、三菱建設などがこの斬新な工事を担った。

華々しく開館したが、既に大阪府が財政危機に陥っていたため、2008年にはこの公共施設も廃止や売却の対象となっていた。しかし、当時の館長であった松本零士氏が、知事と現地で直接対応した経緯もあり、施設は存続された。

現在は堺市が所有し名称も変わったが、今もこの宇宙船は市民に、未来の夢を与え続けている。

建築人 No.706 2023年4月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：荻窪伸彦

委員長：松下典央(編集人代表)

編集人：飯田英二 梅田武宏 笠井志保 河合哲夫

茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義

三谷勝章 武藤優哉 若江直生

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和5年4月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

Gallery



泉北パークヒルズ竹城台

建築主：独立行政法人 都市再生機構 西日本支社

設計：遠藤剛生建築設計事務所

施工：奥村組(101,102号棟) 浅沼組(103,104号棟,集会所)



ー泉北ニュータウン初のUR賃貸住宅建替事業ー

泉北ニュータウンはかつての人々と自然が、長い時間の中で渾然一体になって作った田園や集落の懐かしい風景と、計画的につくられた整然とした街が隣接している。この2つの空間に挟まれているのがこの敷地である。本計画では泉ヶ丘駅に面しては新しい住棟が街並みをつくる役割の一端を担い、他方ではメタセコイヤが群生する丑池の水辺に面し、住棟も中庭も集会所の主室も池に向かって開き優しい風景に接している。また集会所の内部では、古い住棟の一階に使われていた床板に白色オイルステインを塗り、拭き取った素材を用い、時の流れが作った杉板を主役に柔らかない空間をつくっている。

遠藤剛生

所在地：大阪府堺市

用途：共同住宅

竣工：2023.02

構造規模：RC造

地上14階

敷地面積：19,478.19㎡

建築面積：6,179.60㎡

延床面積：31,158.26㎡

写真：松村芳治

第41回大阪都市景観建築賞(愛称 大阪まちなみ賞)入賞作品

主催 大阪府・大阪市・(公社)大阪府建築士会・(一社)大阪府建築士事務所協会・(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会・(一社)日本建築協会

- ◆表彰目的 周辺環境の向上に資し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心とするまちなみを表彰することにより、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、都市景観に対する意識の高揚を図ることを目的とする。
- ◆対象 大阪府域内の建物(平成29年8月1日から令和3年7月31日までに完成したもの)及び建物を中心としたまちなみ(令和3年7月31日までに完成したもの)で、一般の方々から推薦を受けたもの。

◆審査委員 ※50音順 審査委員長*

加藤 精一(建築)
(一社)大阪府建築士事務所協会理事

寺地 洋之(建築)
(公社)大阪府建築士会特任顧問

藤本 英子(芸術)
京都市立芸術大学美術学部デザイン科教授

嶋 高宏(デザイン)
(一社)総合デザイナー協会代表理事兼理事長

中嶋 節子(建築)
京都大学大学院人間・環境学研究科教授

牧野 克也(報道)
朝日新聞大阪本社編集局社会部長

下村 泰彦(造園)
大阪公立大学大学院現代システム科学研究科環境共生科学分野教授

久 隆浩*(都市計画)
近畿大学総合社会学部総合社会学科環境・まちづくり系専攻教授

◆審査総評

本年の審査対象47件(建物43件、まちなみ4件)から、例年通り審査資料にもとづいた1次審査で11件を選出し、現地審査による2次審査を行った。

2次審査の結果、大阪府知事賞に「大東市公民連携北条まちづくりプロジェクト「morineki」」、大阪市長賞に「大丸心斎橋店本館・心斎橋PARCO」、審査員特別賞に「枚方市総合文化芸術センター」を選出した。

「大東市公民連携北条まちづくりプロジェクト「morineki」」は市営住宅の建替えを契機として、借上公営住宅と店舗・オフィス群、公園が一体となった景観を再構成しており、大東公民連携まちづくり事業株式会社との公民連携によるプロジェクトとしてもユニークなものとして評価ができる。「大丸心斎橋店

本館・心斎橋PARCO」はヴォーリズ設計の旧館の外壁だけを切り取り、新しい建物につなげる手法を取っており、工法としてユニークである。「枚方市総合文化芸術センター」は、建物デザインだけでなく建物及び敷地緑化にも力をいれており、総合的に優れた景観デザインとなっている。今回は緑化賞の選考はなかったが、重複受賞が許されるならば本作品は緑化賞にも値するものであった。

奨励賞には「藤田美術館」「大阪中之島美術館」「ユニソン大阪事業所」「大阪学院大学高等学校新校舎」「4棟の家」の5作品を選定した。私設美術館、公設美術館、事務所、学校、住宅と、用途、そして規模としても多様な作品を選ぶことができた。とくに「4棟の家」は個人住宅として久々の受賞であり、今後も

さまざまな建物が大阪の景観づくりのために貢献してくれることを期待する。

また、景観は建物デザインに目が行きがちであるが、「大東市公民連携北条まちづくりプロジェクト「morineki」」が示しているように、まちづくりとしてどのような協働、連携ができるかも重要であり、その成果が景観に現れる、まさしく「景観まちづくり」という観点からも考えていくことも重要である。



審査委員長 久 隆浩

審査風景



大阪府知事賞 大東市公民連携北条まちづくりプロジェクト「morineki」



建築位置：大東市北条3-1-1
完成年月：2020年11月
主用途：共同住宅
建築主：(株)コーミン
設計者：ブルースタジオ・石本建築事務所設計監理共同体
施工者：東周建設(株)
撮影者：sotoaso

〈講評〉築40年を迎え老朽化が進んだ市営飯盛園第二住宅の建て替えを契機に、隣接する公園や道路、河川と一体的にリノベーションしたものである。民間活力を使い、借上公営住宅と公園、店舗・オフィス群、そして道路、河川が一体となり、新たな景観を生み出している。建物の外構空間は、公園、道路、河川とシームレスにつながり、全体が公園のような雰囲気を出している。また、建て替えられた低層の公営住宅や店舗・オフィス群の切妻屋根は、生駒山系と調和し、まさしく山の「ねき」(そば)にふさわしい風景となっている。(審査委員長 久 隆浩)

大阪市長賞 大丸心斎橋店本館・心斎橋PARCO



建築位置：大阪市中央区心斎橋1-7-1
完成年月：2020年9月
主用途：商業施設
大丸心斎橋店本館
建築主：(株)大丸松坂屋百貨店
設計者：(株)日建設計(基本設計・監修)+(株)竹中工務店(実施設計・監理)
施工者：(株)竹中工務店
心斎橋PARCO
建築主：(株)パルコ 設計者：(株)竹中工務店 施工者：(株)竹中工務店
撮影者：古川泰造

〈講評〉大丸心斎橋店とパルコの2棟のビルが市長賞を獲得した。大丸は、ヴォーリズの伝統的な幾何学模様を強調して屋上階に積み上げ、パルコはドレープをテーマに現代的なデザインで、2棟を対比させる応募は都市の際だった風景を創造して素晴らしい。特に御堂筋の夜景は、2棟の輝きがあってこそ素晴らしい効果を醸している。都市の景観は1棟だけでなく連続する2棟・3棟をブロックとして景観と捉えることこそ、都市景観の本質だろう。(審査委員 嶋 高宏)

審査員特別賞 枚方市総合文化芸術センター



建築位置：枚方市新町2-1-60
完成年月：2021年5月
主用途：劇場
建築主：枚方市
設計者：(株)日建設計
施工者：前田建設工業(株)
撮影者：伊藤 彰・アイフォト

〈講評〉本センターは、建築低層部に水平庇と軒先緑化を分節させながら纏い、前庭のランドスケープと連続させている。山の裾野のように計画することで威圧感が表出しがちな大ホール内包の建築を優しく着地させている。水平庇の先端と背後のホール外壁がコンクリート打ち放しで連続し、低層部壁面のアースカラータイルと地面を連続させる。この上(空)と下(地面)への仕上げの連続の間に軒先緑化が層をなした計画のバランスが秀逸である。(審査委員 寺地洋之)

奨励賞 藤田美術館



建築位置：大阪市都島区網島町10-32 完成年月：2020年8月
主用途：美術館 建築主：公益財団法人 藤田美術館
設計者：大成建設(株)一級建築士事務所 施工者：大成建設(株)
撮影者：伊藤 彰・アイフォト

〈講評〉本施設は、敷地境界部に存在した高塀を除去し、隣接する毛馬桜之宮公園との一体的な空間としてリニューアルされ、南側接道部では、塀や垣のないオープンなデザインにより、周辺地域に文化的・自然的な雰囲気を提供している。
(審査委員 下村泰彦)

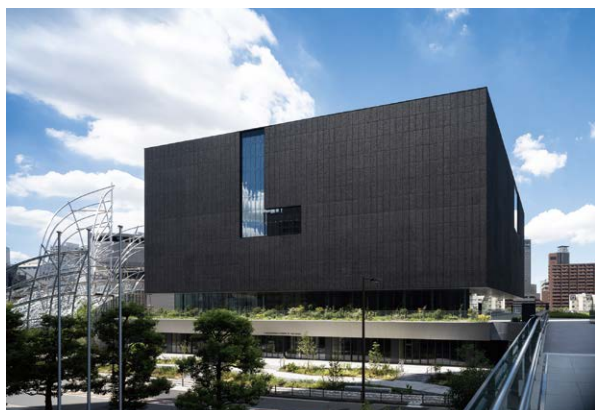
奨励賞 ユニソン大阪事業所



建築位置：大阪市鶴見区茨田大宮2-8-13
完成年月：2021年7月 主用途：事務所
建築主：(株)ユニソン 設計者：無有建築工房
施工者：(株)伊藤嘉材木店 撮影者：絹巻豊写真事務所 絹巻 豊

〈講評〉自社の製品としての外構材を、ふんだんに活用した景観づくりが、地域に開き地域の目を引く空間を形成している。路面と壁面で、自社製品活用での、組み合わせ実験が繰り広げられている、ライブ事務所として見応えがあった。
(審査委員 藤本英子)

奨励賞 大阪中之島美術館



建築位置：大阪市北区中之島4-3-1 完成年月：2021年6月
主用途：美術館 建築主：大阪市
設計者：(株)遠藤克彦建築研究所／大阪市
施工者：銭高・大鉄・藤木特定建設工事共同企業体 (株)銭高組は表彰対象外)
撮影者：上田 宏

〈講評〉一見異様で巨大な黒色の直方体だが、発展著しい中之島の街並みともマッチしているから不思議だ。屋外に設置されたヤノベケンジ氏制作の巨大なネコの彫刻も、美術館らしい空間を巧みに演出している。
(審査委員 牧野克也)

奨励賞 4棟の家



建築位置：堺市 完成年月：2021年4月
主用途：戸建て住宅 設計者：(株)コンパス建築工房
施工者：(株)ケイ・アイ・エス 撮影者：岡田大次郎

〈講評〉近世に遡る大規模民家が点在する地域に建つ住宅建築である。周辺の民家にあわせた規模と屋根勾配、分棟型の建物配置とすることで、この地の歴史とまちなみを継承する。屋根と外壁を覆う無垢のセメント板の素材感、敷地角をまちに開いたやさしい表情が、風景に品よく馴染んで好ましい。
(審査委員 中嶋節子)

奨励賞 大阪学院大学高等学校新校舎



建築位置：吹田市岸部南2-6-1
完成年月：2019年10月
主用途：学校
建築主：学校法人 大阪学院大学
設計者：(株)北川原温建築都市研究所
施工者：前田建設工業(株)関西支店
撮影者：千葉顕弥

〈講評〉斜めに切り取った外壁の金属パネルにより、反射する光と影が移ろう外観は、大胆で刺激的デザインだが、東側のけやき並木や北側の住宅との間の緑地帯、西側の芝生グラウンドと生垣が緩衝帯となっており、周辺の街並みとのバランスを生み出している。
(審査委員 加藤精一)

動静レポート

会長動静

- 2/22～28 ホーチミン建築士会協定締結
- 3/ 1 事務局職員と個人面談
- 3/ 9 修成建設専門学校卒業式
第 66 回大阪建築コンクール審査会
- 3/10 府公共建築設計コンクール表彰式
正副会長会議、運営会議
- 3/12 滋賀県建築士会・矢場氏褒章祝賀会
- 3/14 大阪府収用委員会、理事会
- 3/15 ベトナムフーイエン省代表団迎賓
日本建築士会連合会正副会長会議
- 3/16 日本建築士会連合会理事会
- 3/17 新旧理事会
- 3/18 ホーチミン海外研修報告会

3 月度 理事会報告

日時 3 月 17 日（金）16：00～18：00
場所 KKR ホテル大阪
出席 理事 42/48 名 監事 1/2 名

(1) 入退会の承認

(人)	2 月	入会	退会等
正 会 員	2,353	0	8
準 会 員	32	0	0
特準会員	25	0	0
賛助会員	140	0	0
計	2,550	0	8

(2) 会計報告

(円)	2 月計	累計
収入	10,333,086	119,311,134
支出	9,332,058	119,339,634
差引	1,001,028	△ 28,500

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 収支決算見込み

建築士試験の申込み手続きや法定講習の定期講習・既存住宅状況調査技術者講習・監理技術者講習等の Web 講習が進み、対面参加者の減少が顕著であり、委員会企画事業を含めて全体的に低調傾向です。
また、会報誌充実のための全頁カラー化及び増頁による支出増加も影響して、約 700

万円弱の赤字決算の見込みを報告しました。事務局職員数を縮小する方針により段階的に固定費は減額しますが、試験・登録・法定講習等の更なる減収を見越して、委員会諸活動の収益増を図る方策が急務としました。

(4) 令和 5 年度の事業計画（案）

令和 5 年度の公益社団法人としての基本目標を定めるとともに、地域社会へ貢献・建築文化の発展・建築士の育成等の 3 区分及び収益事業部門とその他部門の 3 部門とした事業計画とその目的を承認しました。

(5) 令和 5 年度の収支予算（案）

令和 5 年度予算は各部門の実績提示額を基に審議し、収支総額 12,220 万円、差引額 0 円の予算案を承認しました。

(6) 資金調達及び設備投資の見込み

令和 5 年度は資金調達及び設備投資の見込みはないことを承認しました。

(7) 定時総会の開催日時と会場

令和 5 年度定時総会は、5 月 17 日に KKR ホテル大阪での開催を承認しました。

(8) 令和 5 年度の組織・会務分掌（案）

令和 5 年度は、公益目的事業に則った組織構成としてスリム化を図ります。

理事の会務分掌案は、次期役員候補者を含む理事 47 名、監事 2 名による構成とし、承認を受けた役員候補者は 5 月の定時総会で選任される予定です。

あすなろ夢建築のグランプリを 梶田瑞稀さんが受賞

大阪府・府住宅供給公社・本会が主催する第 32 回大阪府公共建築設計コンクール（あすなろ夢建築）は、府内の建築を学ぶ高等学校、専修学校等の学生を対象とする設計コンクールで、グランプリ作品は提案趣旨を活かして実際に事業化を行います。

今回の課題は「花と緑のあふれる都市のオアシス」がテーマの府営住之江公園の休憩所です。

応募総数は 178 作品、2 月 5 日の最終審査で梶田瑞稀さん（大阪工業技術専門学校 1 年）の作品名「下上下下上下（したじょうげうえしたうえ）」がグランプリを受賞し、3 月 10 日に府咲洲庁舎で他の賞とともに表彰式が行われました。

令和 4 年度大阪市高齢者住宅改修費給付 事業審査業務の実績

本事業は、居宅介護住宅改修費を利用する方に対し、介護保険制度を補完する制度として工事費用の一部を給付する大阪市独自の制度で、本会が審査業務を担っています。令和 4 年度の審査業務は、54 件の書類審査及び 21 件の訪問・現地調査を行いました。

ホーチミン市建築士会と協定を締結

本会は、2 月 23 日にベトナムのホーチミン市建築士会と「交流促進に関する覚書」に調印を行いました。

本会から岡本会長他役員委員 8 名がホーチミン市に赴き、ベトナムの建築関係各位に迎えられ、たいへん友好的な歓迎を受けて主要各地を視察いたしました。

今後は、本覚書を遵守し、相互協力を通じて交流を深めてまいります。



ホーチミン市建築士会と本会の調印式

フーイエン省訪日団と建築意見交換



3 月 15 日にベトナムのフーイエン省のズン書記長を団長とする訪日団 15 名が来会され、本会は柳川名誉会

長や岡本会長他役員 8 名がお迎えしました。フーイエン省の都市開発やまちづくりの現状説明など意見交換を行い、これからの交流継続を約束しました。



フーイエン省の皆様と本会役員

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。
 感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。
 不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。
 令和3年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。
 スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご活用ください。
 （業務内容）
 耐震診断報告書の審査、評価
 耐震補強計画案の審査、評価 等
 （対象建築物）
 公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
 （会員特典）
 申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の10％割引があります。

令和5年建築士試験案内

7/2、7/23、9/10、10/8

受験申込は、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。
 ■二級・木造建築士試験
 ◇インターネットによる受付期間
 令和5年4/3（月）午前10時～4/17（月）午後4時
 ◇学科試験日
 二級 7/2（日）
 木造 7/23（日）
 ◇設計製図試験日
 二級 9/10（日）
 木造 10/8（日）
 ■一級建築士試験
 ◇インターネットによる受付期間
 令和5年4/3（月）午前10時～4/17（月）午後4時
 ◇学科試験日
 7/23（日）
 ◇設計製図試験日
 10/8（日）
 ※受験申込の詳細については、建築技術教育普及センターのホームページをご覧ください。
<https://www.jaeic.or.jp/>

令和5年度監理技術者講習

（監理技術者以外の方も受講可能）
 4/26、5/26、7/5、9/7 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。
 日程 4/26（水）、5/26（金）、7/5（水）、9/7（木）
 時間 8：55～17：00
 会場 大阪府建築士会 東会議室
 定員 各回30名（定員に達し次第締切）
 受講料 WEB申込み9,500円
 郵送申込み10,000円
 申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

令和5年度建築士定期講習

5/30、6/20、7/27、8/25、9/27、10/19、11/30、12/22、1/30、2/6、3/29
 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和2年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義
 日程・会場・定員
 5/30（火） 大阪国際会議場 300名
 ※6/20（火） 大阪YMCA会館 200名
 7/27（木） 大阪YMCA会館 200名
 ※8/25（金） 大阪府建築健保会館 90名
 9/27（水） 大阪府建築健保会館 90名
 ※10/19（木） 大阪府建築健保会館 90名
 ※2/6（火） 大阪YMCA会館 200名
 ▼DVD講義
 日程・会場・定員
 11/30（木） 大阪府建築健保会館 90名
 ※12/22（金） 大阪府建築健保会館 90名
 1/30（火） 大阪府建築健保会館 90名
 3/29（金） 大阪府建築健保会館 90名
 時間 9：15～17：00（各講習日共）
 受講料 12,980円（消費税含。事前振込）
 申込方法
 申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。（令和2年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）
 ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。
 受付場所（送付場所）
 ※印の日程 大阪府建築士会事務局
 ※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局
 建築技術教育普及センターHPからWEB申

込も可能です。
<https://jaeicktosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
 注）各回定員に達し次第、受付を終了します。

ミライREBORNスマイ プロジェクトー医・食・住でミライの健康な都市生活ー

主催 公益社団法人全日本不動産協会
 共催 公益社団法人大阪府建築士会
 ●募集目的
 本プロジェクトでは、入賞作品の中から3DCG映像等の作品を共創（翻案・制作）し、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアバビリオン」での展示・公開を予定しています。
 ●募集部門・応募資格
 ①学生・一般の部
 応募資格はとくになし。大学、大学院修士・博士課程、短期大学、専修学校、高等専門学校・その他の就学者を含む。
 ②建築家・デザイナーの部
 建築・都市デザイナー、グラフィックデザイナー、ビジュアルアーティストなど幅広いジャンルに属するプロフェッショナルのクリエイター。
 ●審査委員
 樋口真嗣（審査委員長、映画監督・特技監督）
 赤井孝美（ゲームクリエイター、アニメプロデューサー）
 秋吉浩気（建築家・メタアーキテクト）
 内田友紀（都市デザイナー）
 齋藤精一（クリエイティブディレクター）
 重松象平（建築家）
 中川エリカ（建築家）
 近藤良一（大阪の住まい活性化フォーラム会長）
 豊田崇克（一般社団法人ソフトウェア協会副会長）
 ●賞・副賞
 最優秀賞
 200万円・賞状、トロフィー（1点×2部門=計2点）
 優秀賞
 50万円・賞状（2点×2部門=計4点）
 佳作
 30万円・賞状（4点×2部門=計8点）
 特別賞
 50万円・賞状（部門を問わず全体で2～3点程度）
 ●募集要項公表 1/12（木）
 ●応募登録期間 1/12（木）～5/10（水）
 ●応募受付期間 6/12（月）～8/10（木）
 ●問い合わせ
 公益社団法人大阪府建築士会
 メール:mirai.reborn.sumai@aba-osakafu.or.jp

カネカウェルネスセンター見学会

4/11 CPD2単位

本施設は木造建築、独自の外壁通気工法をはじめとする環境技術によるNet-ZEB。ウェルネス認証においては、日本でも例の少ないプラチナ認証を申請中と様々な技術を取り入れています。
 設計者から計画内容および施工における留意点を直接説明して頂く良い機会ですので是非参加ください。
 日時 4/11（火） 15：00～17：15

会場 カネカウェルネスセンター
 定員 40名（申込先着順）
 受講料 建築士会会員2,500円
 後援団体会員3,000円
 一般4,500円

武庫川女子大学・甲子園会館特別見学会

～旧甲子園ホテルーライト模式にふれるひととき～
 4/12

米建築家F・L・ライトの愛弟子・遠藤新氏の設計による日本に現存する数少ないライト様式の建築・武庫川女子大学甲子園会館（旧甲子園ホテル）をじっくり見学します。
 ライトゆずりの変化に富んだ空間に建物の随所に見られるライト様式の幾何学文様に加え打ち出の小槌、市松格子等々、日本の伝統的匠意も取り入れられた建物です。
 会館の特色・魅力でもある素材によるレリーフ表現やディテールの豊富さそれらを見ても飽きることがありません。ぜひこの機会にライト建築を体感してみてください。
 日時 4/12（水） 14：00～16：00
 （見学時間は約90分）
 集合場所 武庫川女子大学正門付近
 兵庫県西宮市戸崎町1-13
 会場 武庫川女子大学・甲子園会館
 （旧甲子園ホテル）
 参加費 会員1,500円 会員外2,000円
 定員 20名
 ※企画内容については若干変更になる場合があります。

雷テクノロジーセンター見学会内部雷保護・外部雷保護説明会

4/21 CPD3単位（予定）

昨今、異常気象による雷被害が拡大しており、地域に応じた適切な雷保護の計画の必要性が増している。
 見学会では実際に雷対策製品や雷の発生の仕組みなどが学べ、雷を疑似体験することで、雷の世界に触れることができます。
 説明会では建物内部の雷保護対策である「内部雷保護」と建物外部での雷保護対策である「外部雷保護」について実務上の知見も交えながら説明を行います。
 日時 4/21（金） 14：00～17：00
 会場 雷テクノロジーセンター
 定員 40名（申込先着順）
 受講料 建築士会会員2,500円
 後援団体会員3,000円
 一般4,500円

子育てしやすい住まいと建築

～少子社会と子育てにやさしい環境について考える～
 4/21 CPD2単位

日本では少子化が進み異次元の少子化対策が検討される中で、日本の子育ての現状と、子どもや子育て家族にとって安心・安全

INFORMATIONの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

で快適な建築基準や環境について学びたい
と思います。

日時 4/21(金) 18:00~20:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

講師 ミキハウス子育て総研(株)

代表取締役社長 藤田 洋

定員 限定50名(先着順)

参加費 会員1,500円 会員外2,000円

令和3・4年合格者会員 無料

令和3・4年合格者会員外1,500円

講師 有限会社造景空間研究所

藤山 宏

定員 限定30名(申込先着順)

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

2020年以降入会新入会員 無料

令和3・4年合格者会員 無料

令和3・4年合格者会員外1,500円

学生 無料

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/miyazaki-sugi/shigoto/ringyo/20210716.html>

その他のお知らせ

『日本・ドイツ・米国における省エネ環境建築の最新』大阪セミナー4/10

ドイツの環境建築家(博士)、アメリカの建築士・ウエントワース工科大学客員教授、お茶の水女子大学名誉教授(生活環境学)による健康・省エネ建築の最新情報をお届けします。

日時 4/10(月) 12:30~16:30

会場 難波御堂筋ホール(ホール8A)

主要テーマ

■ドイツと米国からの省エネ提言

■日本・ドイツ・米国における省エネ建築の現状

■日本・ドイツ・米国における高経年マンションの活用

定員 50名

受講対象者

世界の健康・省エネ建築と騒音が少ない外断熱改修に興味のある方

受講料 無料

主催 一般社団法人日本断熱住宅技術協会

共催 特定非営利活動法人日本外断熱協会

後援 公益社団法人大阪府建築士会

申込 Fax.03-5216-1760

e-mail: info@sotodan-jaei.org

2023年度建築学会大会(近畿) 関連行事 第12回建築紛争フォーラム 「近畿地域における建築紛争の現状と課題」

9/14

司法支援建築会議では、2009年度から日本建築学会大会の関連行事として「建築紛争フォーラム」を開催してまいりました。このフォーラムの趣旨は、建築紛争を巡る課題について司法支援建築会議会員、裁判官、弁護士等で意見交換を行うとともに、学会大会の関連行事として開催することにより全国の会議会員との交流の場を設けることにあります。2023年度の建築紛争フォーラムでは、まず大阪地方裁判所の裁判官に基調講演をいただき、引き続き調停委員や専門委員として活躍中の会議会員および裁判所の判事による最新の事例報告の後、会場からご質疑をいただきます。建築紛争解決や建築事件の未然防止につなげたいと思います。

会議会員の交流のみでなく、広く一般市民にも建築紛争被害を避けるための情報提供の場であることから、ふるってのご参加をお願いいたします。

日時 9/14(木) 13:30~16:55

会場 京都教育文化センター ホール

(京都市左京区聖護院川原町4-13)

対象 建築の専門家 定員 180名

参加費 無料

主催 日本建築学会司法支援建築会議

詳細・申込

日本建築学会HP「催し物・公募」欄に掲載予定

<https://www.aij.or.jp/event/list.html>

建築士の会「大阪市北地域」

淀川河川敷公園オープンエアーディング

5/7

建築士の会「大阪市北地域」では春の交流会を実施します。大阪市(北区、都島区、旭区、淀川区、東淀川区)に在住、在勤の会員の皆様と親睦を深め、会員同士の情報交換をしませんか。淀川河川敷公園は西中島南方駅から徒歩7分程。芝生が広がるオープンスペースです。淀川の自然を満喫しながら大阪市内の魅力あるスポットについて意見交換しませんか?新企画の提案も大歓迎です。地域外の方もどうぞお気軽にご参加ください。

日時 5/7(日) 12:00~15:00(雨天中止)

場所 淀川河川敷公園(西中島付近)

詳細は参加証にてご案内します。

定員 30名程度

参加費 1,500円(軽食とソフトドリンク付き)

設計者・施工者のための デジタル技術の新たな潮流 5/19 CPD3単位(予定)

生産性向上を目指した様々な建設DXが進んでいます。建物の調査～調査データのデジタル化～デジタル画像による3Dモデル～3Dプリンターによる型枠や建屋の建設まで、設計者～施工者の役に立つデジタル技術の新たな潮流の現状と今後の情報をご紹介します。

日時 5/19(金) 13:30~16:45

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 60名(申込先着順)

受講料 建築士会会員2,500円

後援団体会員3,000円

一般4,500円

行政からのお知らせ

令和4年度みやざき材活用施設設置支援事業

宮崎県はスギ素材生産(丸太)31年連続日本一です。みやざきの木材を使って施設整備をしませんか。店舗などのPR効果の高い施設の内装や外装の木質化に最大100万円を助成いたします。

主催 宮崎県

詳細・申込 山村・木材振興課みやざきスギ

活用推進室

Tel.0985-26-7156

街に、ルネッサンス



UR

UR都市機構

西日本支社

〒536-8550 大阪市城東区森之宮 1-6-85



令和5年10月から
消費税インボイス制度
が始まります。

消費税
インボイス
制度

登録を予定されている事業者の方へ

登録申請はお早めに!



登録申請手続は、
かんたん・便利♪ **e-Tax** をご利用
ください!!

- ✓ [e-Taxソフト(WEB版)]、をご利用いただくと、質問に回答していくことで申請が可能です。
- ✓ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。
- ✓ 個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。

※e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

説明会を開催中

税務署での説明会やオンラインでの説明会をご案内しております。

説明会ページへ

制度について詳しくお知りになりたい方は、国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)の「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

特設サイトへ



- ① 制度の解説動画 ② AIを活用したチャットボット
- ③ インボイスコールセンター などをご案内しております



東海道五十七次の宿場町「守口宿」を今に！ 旧徳永家の活用



守口市 都市整備部 住宅まちづくり課 課長 新田 斉

実は「五十七次」あった東海道

最終宿は守口宿

東海道は江戸と京都を結ぶ主要ルートとして、江戸時代に整備された五街道の一つで、徳川家康により定められました。「東海道五十三次」と耳にすることもあります。「五十三次」とはここにある53の「宿場」を指します。古来、道中には風光明媚な場所や有名な名所旧跡が多く、浮世絵や和歌・俳句の題材にもしばしば取り上げられました。その後、大坂城の再建を始めた2代将軍・徳川秀忠が、豊臣秀吉の制定した京街道（京都～大坂）を加え、4つの宿駅を置き、この街道は「五十七次」となりました。今回ご紹介する徳永家住宅は街道の最終宿、「守口宿」に位置しています。

「旧徳永家」



主屋 文禄堤側外観

守口宿は、枚方宿（枚方市）から3里（約12キロ）大坂・京橋へは2里（約8キロ）の位置にあり、当時の人口は764人、177軒の店舗があつて賑わっていたとされます。（東海道宿村大概帳）。しかし、現在では住宅化が進み、当時の面影を残す建築物は数件となっています。そのような中、旧守口宿の景観を今に残す建築物「旧徳永家」の所有者から守口市に建物寄贈の申し出がありました。市は建物敷地を購入。旧徳永家住宅の新たな活用を目指します。

旧徳永家の特徴

旧徳永家は、河内木綿やなたね油など、上級商人の間屋であつたと言われています。

（敷地）

旧徳永家は豊臣秀吉によって築かれた「文禄堤」の上に建築され、その敷地は明治期までは敷地の西側で付け替え前の旧淀川に近

接し、河川との深いつながりを有していました。明治後期の淀川の流路変更により、淀川との地理的に近い関係は失われましたが、文禄堤の敷地と西側道路の高低差は現在でも残されています。当家の伝えによると、かつて上座敷は川を利用した舟行遊山の拠点になっていたとも言われ、こうした民間の伝承には人々の日常の暮らしに舟運が息づいていたことをうかがわせます。

（主屋）

主屋には棧瓦葺きの通り庇があり、腕木と出桁によって支持され、厨子2階は白漆喰で垂木や出桁ほか、軒裏を塗り込め大壁としたせが造りの軒下に虫籠窓を設け、両端には袖うだつを備えています。こうした外観の構成は、江戸時代の大坂に見られる町家の一般的な特徴に類似し、それを継承するものです。

（土間）

1階は土間部分の奥行を深くし、棟位置より裏手の大屋根を葺き下ろす形式は、「守口宿」の町家に特有の平面形態であることが指摘されており、現存する数少ない遺構とともに地域的特色を伝えるものとして貴重なものです。



主屋 土間

（土蔵）

土蔵の一部では、置き屋根の形式をとり、外壁は舟板を縦張りとして、かつて近接していた淀川とのつながりを留めています。



蔵 3

旧徳永家の活用方針

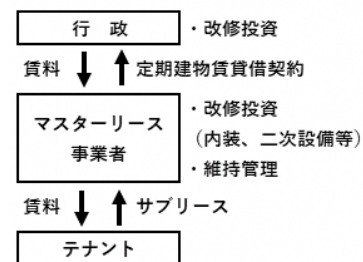
歴史的建築物は、「保存」し展示される場合が多いですが、旧徳永家は市民が日常的に訪れることができ、文禄堤の歴史性を誇りに感じる、地域コミュニティの核になるような場として、民間事業者等に貸し付け「活用」することとしました。活用にあたっては、「守口の個性」を象徴する、大人も子供も楽しめる、住み続けたいくなるコミュニティ形成が広がる場を目指します。



整備イメージ

活用の事業スキーム

今回の活用では、市が耐震や防火等の改修を行い、基本的な改修を行ったのち、民間事業者が2次改修を行います。公と民が連携し、民のノウハウと責任を持たせることで、持続可能な賑わいが生まれると考えています。



今後のスケジュール

この事業は令和5年の夏に事業者を決定し、改修工事を終え、令和7年度にオープン予定です。街道の宿場町「守口宿」が徳永家の新たな活用により、活性化されることに期待が集まります。



活用イメージ

公営住宅として全国初のプロジェクトでまちづくり



大東市 政策推進部 公民連携推進室 山本 晃

○大東市の紹介

JR学研都市線の4駅「鴻池新田駅」「住道駅」「野崎駅」「四条畷駅」からアクセスでき、都心から電車で約10分。広大な緑地公園や自然を有し、空気もおいしい。コンパクトな割に図書館が3館と充実し、都会と田舎のイトコ取りをした「ちょうど良い」まちです。

○北条地区の概要

大東市北条地区は飯盛山のふもとに位置し、近くを権現川が流れる自然豊かな地域です。近年、人口減少や高齢化、公共施設の老朽化などによるまちなみの魅力低下、地域経済の低迷が課題となっています。そこで、これらの課題を解決するため、単に市が公共施設の整備を実施するのではなく、民間のノウハウを用いて「公」と「民」が協力してエリア開発を進める「北条まちづくりプロジェクト（morineki プロジェクト）」が動き出しました。このプロジェクトでは、「ココロもカラダも幸せに暮らせる住宅地」を開発理念とし、多世代が交わり、四条畷駅から飯盛山にかけてのつながりを意識したデザイン性の高い住宅地域として再生することを目指しています。

○全国初となる公民連携の取り組み

北条まちづくりプロジェクトのスタートアップ事業である「morineki プロジェクト」では、公営住宅としては全国初となる公民連携（PPP: Public Private Partnership）手法による市営住宅の建替え整備が実現しました。市が出資して設立したまちづくり会社「大東公民連携まちづくり事業株式会社（現：株式会社コーミン）」主導で、老朽化が進んでいた市営飯盛園第二住宅の建替えを契機に、周辺

道路や公園・橋梁・河川など、エリアに点在する公的資産を活用し、一体的・段階的にリニューアルを行ったものです。

木造低層で作られた住宅建築物は玄関が中庭に面したつくりとなっており、住民が顔を合わせ、コミュニケーションが取りやすいよう工夫されています。また、鎌池公園には芝生が広がり、エリア内に併設された商業棟は、アウトドアショップ、レストランなどの店舗のほか、民間企業の本社事務所としても活用されています。そしてこれらは、敷地がそれぞれ分かれていながらも、市営住宅や商業棟エリアの植栽を連続的につなげ、道路空間の整備などをあわせて行ったことで、エリア全体が公園を中心に一体感のあるデザインとなっています。



○まちびらき後のmorineki

令和3年3月にまちびらきをしたmorinekiは、今年3月で2周年を迎えました。商業棟や鎌池公園は多くの人で賑わっており、公民連携の先行事例として全国各地から視察の依頼をいただいている状況です。

また、morinekiエリアの景観やまちなみなどが評価され、令和3年度に「土地活用モデル大賞（審査委員長賞）」、令和4年度には「都市景観大賞（国土交通大臣賞）」、「グッドデザイン賞」、「第41回大阪都市景観建築賞（大阪府知事賞）」を受賞することができました。



○大東市初の国史跡「飯盛城跡」の誕生

四条畷駅からmorinekiに向かって歩くと、目前に広がるのが飯盛山です。飯盛城跡は南北650m、東西400mという西日本有数の規模を誇る戦国時代の山城で、標高314mの山頂一帯に構築された城跡は、かつて織田信長に先駆けた天下人とも言われる「三好長慶」の最後の居城として有名です。

また、戦国時代末期では珍しく「石垣」を多用した城であることが最大の特徴となっており、当時の高い土木技術を後世に伝える貴重な遺構であることから、2017年には「続日本100名城」に選ばれ、2021年10月には大東市初となる「国史跡」に指定されました。

飯盛山は当時の石垣を見ることができ、ハイキングの名所でもあり、休日は多くのハイカーで賑わっており、特に山頂からの眺望は、一見の価値があります。morinekiのアウトドアショップへ来られた方々もトレイルラン目的で登られています。



○北条地区のこれから

morinekiのまちびらき以降、課題の一つであった人口減少については、改善の兆しが見えつつあります。今後も、「morineki プロジェクト」とのつながりを踏まえながら、北条エリアをより一層良好な住宅地へとリニューアルしていくために新たな取り組みを進めていく予定です。

4度の受賞を受けた都市景観と、国史跡・名城として評価された歴史ロマンを味わいに、ぜひ一度大東市にお越しください。



坂口安吾のモダニズム

小菅刑務所（現・東京拘置所） 一九二九年

文・写真＝松隈 洋〔神奈川大学建築学部教授〕

一九二〇年代後半の関東大震災の復興期は、同潤会アパートと時を同じくして、さまざまな施設の近代化が図られていく。そこには地震国日本が背負わざるを得なかった建築の耐震化という難題も横たわっていた。そのため、震災で脆くも倒壊したレンガ造に替わって、最新の鉄筋コンクリート造の新築が進められていく。また、この構造形式の転換と同時に、最新のモダニズム建築の考え方が欧米から移入されて、装飾を削ぎ落とした機能的でシンプルな

造形の建築が生み出される。一九九九年、日本を代表するモダニズム建築として最初の DOCOMOMO 二〇選に選ばれた吉田鉄郎の東京中央郵便局（一九三一年）は、その象徴と呼べるような存在だった。鉄骨レンガ造の東京駅（一九一四年）とは対照的な、鉄筋鉄骨コンクリート造の柱と梁、大きな開口部と白色タイルで構成された清新な外観は、人々の生活を支える郵便という近代の制度を表徴するものとして、中央駅と対となって歴史を刻んでいくことになる。

「小菅刑務所の旧建造物は明治中葉二十一年の建築に係り煉瓦造を主とし当时にあつては内容外観共に備れる刑務所建築界の一異彩であつたが不幸大正十二年秋の大震災にもろくも昔日の面影を失ひ瞬時にして廃墟の姿に変わるの止むなきに至つた。翌十三年直に復旧の工が起され爾來六年の歳月を経て漸く完成を見るに至つた」

「この三つのものが、なぜ、かくも美しいか。ここには、美しくするために加工した美しさが、一切ない。美というものゝの立場から付け加えた一本の柱も鋼鉄もなく、美しくないという理由によつて、取り去つた一本の柱も鋼鉄もない。ただ必要なもののみが、必要な場所に置かれた。そうして、不要な物はすべて取り除かれ、必要のみが要求する独自の形が出来上がっているのである。」



西側正面の車寄せと子供たち 一九九九年撮影

そして、続けて設計意図が次のように説明されていく。

「計画に當つて新しき行刑思潮の一流たる刑務機能の積極觀と數百年の將來を持つ鉄筋コンクリート造に約束せられる恒久順応性とは特にその根本基調とせられた。かくて旧時の陰慘なる牢獄的気分は一掃され新小菅刑務所の姿は新しき刑務所建築界の黎光に最初の影を投げる事となつた。」

文中の言葉からも、この施設が、「數百年の將來を持つ」鉄筋コンクリート造への信頼と「牢獄的気分」を「一掃」しようと建設されたことがわかる。そうした特徴は、図らずも、竣工から三年後の一九三二年五月に來日し、「急

「取手という町に住んでいた。（中略）この町から上野まで五十六分しかかからぬのだが、利根川、江戸川、荒川という三つの大きな川を越え、その一つの川岸に小菅刑務所があつた。汽車はこの大きな近代風の建築物を眺めて走るのである。非常に高いコンクリートの塀がそびえ、獄舎は堂々と翼を張つて十字の形にひろがり、十字の中心交又点に大工場の煙突よりも高々とデコボコの見張りの塔が突つ立っている。もちろん、この大建築物には一カ所の美的裝飾というものもなく、どこから見ても刑務所然としており、刑務所以外の何物でも有り得ない構えなのだ。が、不思議に心惹かれる眺めである。それは刑務所の觀念と結びつき、その威圧的なもので僕の心に迫るのは様子

が違ふ。むしろ懐かしいような氣持である。つまり、結局、どこかしら、その美しさで僕の心を惹いているのだ。」

そして、坂口安吾は、聖路加病院の近くにある「緻密な質量感」と「大らかな美しさ」を持つドライアイス工場と港に停泊する駆逐艦に触れた上で、これら三つのものの印象について、次のような評価を綴つていく。

「この三つのものが、なぜ、かくも美しいか。ここには、美しくするために加工した美しさが、一切ない。美というものゝの立場から付け加えた一本の柱も鋼鉄もなく、美しくないという理由によつて、取り去つた一本の柱も鋼鉄もない。ただ必要なもののみが、必要な場所に置かれた。そうして、不要な物はすべて取り除かれ、必要のみが要求する独自の形が出来上がっているのである。」

こうした言葉で掬い取られたものこそ、モダニズム建築の生み出した新しい美学に基づく質感だったのだと思う。そして、安吾は、この文章の末尾で、「われわれの生活が健康である限り、（中略）われわれの文化は健康だ。われわれの伝統も健康だ。」と喝破する。ここに掲載する写真は、神奈川県立近代美術館で二〇〇〇年に開催された「文化遺産としてのモダニズム建築 DOCOMOMO 二〇選」展のため、清水襄氏による現況写真の撮影に同行した際のものだが、正面の車寄せの前を下校する子供たちの姿には心底驚かされた。敷地内に職員の官舎があり、そこに住む子供たちだという。その余りにも日常的な光景に、坂口安吾の捉えたモダニズムの姿を見たように思えた。



STYLIO

CREATING THE NEXT SPACE

住空間を豊かに変える美意識。

軽やかに空間を仕切り、光りや人の気配を感じさせる。
愛すべきコレクションを並べ、収納そのものを楽しむ。

新しい概念を住空間に取り入れ、上質な暮らしに豊かさが加わる。

ユニオンの価値観を一点一点に込め、
品質高く、美しく仕上げた「スタイリオ」シリーズ。

スライディングドア、システム収納、クロセットドアなどの
ラインナップで、空間づくりのこだわりを満たします。



2023 new catalog

最新カタログ『2023 スタイリオカタログ』近日発刊。ご請求は www.artunion.co.jp よりお申し込みください。

本社:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 東京支店:〒135-0021 東京都東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811
fax 03-3630-2816 大阪支店:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731 fax 06-6533-2293
名古屋営業所:〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221 fax 052-363-5255

UNION
ARTWARE



豊かに緑をつなげる文化芸術の場 ポリュームは最小限に抑え環境になじませる



緑と自然光が溢れるエントランスロビー